

平成29年度 岡本北小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

【基本目標】

個々の特性や能力を最大限に伸ばし、心身ともに健康で、創造性と実践力に富み、「知」「徳」「体」の調和のとれた、心豊かな児童を育成する。

【具体目標】

「健康で明るい子ども」「よく考えて判断できる子ども」「思いやりのある子ども」「ねばり強く進んで実践する子ども」

☆子どものスローガン つよく やさしく かしこい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

学校教育目標の具現化を目指して全教職員が一丸となり、創意と活力にあふれ、児童の心を動かす教育活動を展開するとともに、「安心して通うことのできる学校」「自分の力を発揮できる楽しい学校」「きまりを守り互いに尊重し合う学校」「保護者や地域から信頼される学校」を目指した学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) ○生命を尊重する心や思いやりの心など豊かな心、基礎学力の向上、健康や体力の保持増進など、たくましく生きる人間力の育成に努める。
- (2) 児童の学びを支える安全で潤いのある学校環境づくりに努める。
- (3) 教職員としての使命と責務を自覚し、専門職として日々研鑽に努め、個々の指導力を高めるとともに、校内の研修会をより充実し、組織としての指導力の向上を図る。
- (4) 学校、地域、家庭との連携を密にして、地域の教育力を活用しながら、開かれた学校づくりを推進する。

【古里地域学校園教育ビジョン】

夢や目標をもち、その実現に向けて、よく考え、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身に付ける児童生徒の育成

（趣旨）

児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」、そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立を目指す教育に小中が一貫して取り組む。

（研究テーマ）

「コミュニケーション能力の向上」 「学ぶ意欲の向上」

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】

- 児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、困難に立ち向かうたくましい児童の育成

【学習指導】

- 学び合い活動を重視した言語活動の充実によるコミュニケーション能力の育成
 - ・ 姿勢や返事、話の聞き方、発表の仕方などの基本的な学習態度の徹底と家庭学習の習慣化

【児童生徒指導】

- 自他の人権を尊重し、生き生きと自己表現できる児童の育成
 - ・ いじめの未然防止及び規範意識や思いやりの心の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・ 自他の命の大切さを考え、危険を予測し、正しく判断して行動する児童の育成
- 年間を通じた体力向上プログラムの推進

5 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「私は、今の学校が好きです。」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	① 児童の自己肯定感や主体性を高め、居がいを感じながら学校生活を楽しく送れるようにするため、各行事や児童会活動、北小タイム、集会活動等を工夫し、児童が主体的に活動する場を設定する。	B	<p>【達成状況】</p> <p>◇児童の肯定的回答…93.4→92.3% ↓</p> <p>①については、割合が多少下がったが、児童の主体的な活動の広がりが様々な場面で見られた。</p> <p>②については、昨年度と継続しながらの取組みで児童に対する意識付けを心がけていく必要がある。</p>
		② 児童一人一人の特性やよさを的確に把握するとともに、話をよく聞き、声をかけ、よさを認め伸ばす指導を繰り返し行う。	B	<p>【次年度の方針】</p> <p>肯定的な回答が多く、高い数値を維持していることから次年度も継続して取り組んでいく。</p>
	<p>A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「教職員は協力し、教えるべきことを熱心に指導している。」⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	① 学校経営方針や学習指導要領の理解を深め、全職員一丸となり協働して教育活動に取り組む。	B	<p>【達成状況】</p> <p>◇保護者の肯定的回答…89.6→91.8% ↑</p> <p>①については、学校経営方針の共通理解のもと、全職員での活動が理解されてきた。</p>
		② 授業のねらいの明確な提示とねらいに即した振り返りの仕方、構造的な板書等を工夫することにより、児童が主体的に学ぼうとする授業づくりを推進する。	B	<p>②については、児童・保護者ともに授業づくりを認識し、理解しようとする姿勢が見えてきた。</p> <p>③については、発表での事前授業を中心に全教職員での授業力向上が図られた。</p>
		③ 互いに見せ合う一人一授業の実施により、同僚性を高めるとともに、教職員の授業力向上に努める。	B	<p>【次年度の方針】</p> <p>保護者や児童から高い評価をいただいていることから、引き続き取組を継続していく。</p>
	<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している。」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	① 「学習の約束」「生活の約束」を各教室に日常的に掲示し、指導するとともに、各家庭に配付し、約束の内容と意義を児童・保護者・職員が共有し、全職員・保護者が共通理解の下、連携して指導できるようにする。	B	<p>【達成状況】</p> <p>◇児童の肯定的回答…86.2→85.4% ↓</p> <p>①については、約束事の周知は図られてきたので、実践力を伸ばしていきたい。</p> <p>②については、「ふりかえりタイム」の実施と生活目標の徹底が図れた。</p>
		② 毎月「ふりかえりタイム」を設定し、きまりやマナーについて自己評価をしたり、週に一度打合せ時に生活目標の達成状況等について話し合ったりする場を設け、全職員共通理解の下、指導を繰り返し行う。	B	<p>【次年度の方針】</p> <p>①については、今後も家庭との連携を図ることで実践力が身に付くように努めていく。②については、ふりかえりの項目をしぼってふり返させることで徹底を図っていく。また、全職員が足並みをそろえて指導にあたることができるように、随時話し合いの場を設けるようにする。</p>

<p>A 4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる。」⇒児童の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① T・T, 少人数指導, 習熟度別学習等を取り入れ, より効果的な指導を行うとともに, 個に応じた授業の展開を工夫し, 学力の向上を図る。</p> <p>③ 各教科等において, 基礎的・基本的な知識や技能が確実に定着するように, 教材教具や教育機器等を効果的に活用したり, ペア・グループ学習等の学習形態を工夫したりして, 分かる魅力ある授業を実践する。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…96.0→97.0% ↑ ◇保護者の肯定的回答…83.9→86.2% ↑</p> <p>①については, 習熟度別学習や少人数指導の実践が周知され, それぞれの児童の底上げがなされてきた。また, かがやきルームでの指導も効果が上がった。 ②については, 開始時間も徹底され, リズムが出てきた。話し合い活動も活発化してきた。</p> <p>【次年度の方針】 ICTを活用して, さらにわかりやすく魅力のある授業を展開していくようにする。また学習形態の工夫をするように意識しながら授業を展開していくようにする。</p>
<p>A 5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」⇒児童の肯定的回答 90%以上 保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① いじめは絶対に許されない行為であることを, 朝の会, 帰りの会, 道徳の時間, 学級活動などを通して継続的に指導し, 人権に配慮した学級づくりを心がけていくことにより, 「いじめはしない。」という児童の意識化を図る。</p> <p>② いじめに関するアンケート調査, なんでも相談, いじめゼロ集会, いじめゼロリボンの配付, ケース会議やブロック会議の計画的かつ必要に応じた実施等, いじめの未然防止・早期発見につながる日常的な取組に加え, 緊急時にはいじめ対策委員会を実施する等組織的に対応する。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…97.4→99.7% ↑ ◇保護者の肯定的回答…70.9→82.4% ↑</p> <p>①については, 継続的な指導や掲示などにより, 児童一人一人の意識化が図れた。 ②については, いじめ防止月間での具体的な取組みや「チーム学校」としての対応が効果を上げている。</p> <p>【次年度の方針】 ①については, これからも, いじめは絶対に許さないという全職員の共通理解のもと指導にあたっていく。②については, いじめはどの学級においてもおこりうる問題という認識をもって, 積極的にいじめを認知し, 組織的に対応していく。その際は, 保護者への連絡も必ず行うようにする。いじめの未然防止や早期発見につながるアンケートの実施やケース会議等も引き続き定期的にも実施していく。</p>
<p>A 6 日課, 授業, 学校行事などの教育課程は, 適切に実施されている</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「学校の日課・授業・行事などは適切に実施されている。」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 週案による時数管理を確実にを行うとともに, 学校行事終了後の振り返りや中間評価等により, 次年度の教育課程の工夫改善を行う。</p> <p>② PTA, 古里地域学校園, 地域協議会等との十分な行事調整を図りながら, 年間行事予定を作成する。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…95.3→93.7% ↓</p> <p>①については, 振り返りや中間評価の活用が継続されていた。 ②については, それぞれの団体との行事調整を行ったが, 変更なども見られた。</p> <p>【次年度の方針】 低学年には難しい質問ではあるが, 児童全体としては, 充実しているとの肯定的な回答が多く, 次年度も引き続き取り組んでいく。</p>
<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「学校は学年だよりや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している。」⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 年3回学校公開日（土曜授業2日, 平日の授業公開1日）を設け, 保護者及び地域住民への参観を呼びかける。</p> <p>② 学校・学年だよりや各種便りの発行と学校ホームページの定期的な発信に努めるとともに, 伝える内容の精選と見やすく分かりやすい表現についてさらに工夫する。</p>	<p>【達成状況】 ◇保護者の肯定的回答…96.6→97.1% ↑</p> <p>①については, 計画通りの実施で参加率も高かった。 ②については, 各種便りについては, 計画的に発行することができ, ホームページなどへの発新も継続された。</p> <p>【次年度の方針】 学校の取組や子供たちの様子を引き続き, 分かりやすく発信していく。</p>

	<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「学校は、家庭、地域、企業等が連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒保護者の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① P T A、地域協議会、自治会、民児協等と連携し、学校支援ボランティアの協力を得ながら、教育活動の充実や登下校の安全確保、児童の健全育成に努める。</p> <p>② 地域にある事業所や専門性をもつ人材等の協力・参画を得た授業を積極的に取り入れ、地域の教育力を生かした教育活動をさらに推進する。</p>	<p>【達成状況】 ◇保護者の肯定的回答…91.7→93.1% ↑</p> <p>①については、学校支援ボランティアの活動がさらに増え、連携・協力の実践が高まった。</p> <p>②については、読み聞かせボランティアの充実が図られ、多様な教室紹介も見られた。</p> <p>【次年度の方針】 ボランティアによる支援が保護者や子供たちにとって身近な存在となっており、高い評価につながっている。次年度も引き続き取り組んでいく。</p>
	<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である。」⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 清掃の手順を明確にしたり、身の回りの整頓やごみを落とさない、落ちているごみは拾うなどの指導を学級活動で話し合ったりし、児童の清掃及び環境美化への意識を高める。</p> <p>② 毎月の安全点検、月例検査、各教室・特別教室・資料室等の備品整理や設備修理を定期的・日常的に実施し、安全で学習しやすい環境づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 ◇教職員の肯定的回答…92.0→91.3% ↓</p> <p>①については、清掃手順の徹底が図られ、縦割り班清掃が充実した。</p> <p>②については、ギャラリーの展示が充実し、各種表彰や岡本城の歴史コーナーも作られた。</p> <p>【次年度の方針】 ①については、継続して縦割り班の清掃を行う。②については、備品の管理者を詳細に決める。(デジカメなど)</p>
	<p>A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケート「学校は、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。」⇒児童・保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 学校は、それぞれの校種での「あいさつ運動」や小中合同での「あいさつ運動」を中心に、小学校と中学校が連携した取組を主体的に行っている。</p> <p>② 学校は、小学校と中学校が連携し、それぞれの教員が授業を行う交流授業の実践などを通して「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…93.6% ◇保護者の肯定的回答…88.6%</p> <p>①については、小中合同のあいさつ運動が継続され、より拡大した活動になってきた。</p> <p>②については、交流授業なども充実し、中学校教員の授業では、児童が意欲的に取り組んだ。</p> <p>【次年度の方針】 保護者向けに情報発信を強化し、より理解を得るために活動をしていく。</p>
	<p>B 1 「魅力ある学校づくり地域協議会」の経営参画を積極的に進めている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「学校は、魅力ある学校づくり地域協議会と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」⇒地域住民の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 今年度の努力点や学校で課題となっていることを積極的に説明し、地域協議会の意見を反映するとともに、学校と地域が一体となって課題解決にあたる。</p> <p>② 地域コーディネーターと連携を図り、学習支援ボランティアの活動を見直したり拡充したりして、より充実した人材・施設の活用を図る。</p>	<p>【達成状況】 ◇地域住民の肯定的回答…100→100% ↑</p> <p>①については、部会ごとの話し合いが深まり、成果や課題もより具体的になってきた。</p> <p>②については、ボランティアの活動が拡充され、学年に応じた内容が充実してきた。</p> <p>【次年度の方針】 地域住民の方々からの自己評価も高いことから、次年度も継続して取り組んでいく。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>A 11 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、時と場に応じた挨拶をしている。」⇒児童と保護</p>	<p>① 古里地域学校園や地域協議会と連携した児童会による朝のあいさつ運動、毎週水曜日のあいさつボランティアによるあいさつ運動を継続して行い、あいさつの意識化・実践化を図る。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…94.2→95.3% ↑ ◇保護者の肯定的回答…77.4→79.8% ↑</p> <p>①については、あいさつに対する意識は、少しずつ拡大してきていると考えられる。ボランティアの活動も徐々に増えてきている。</p>

況	<p>者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>② 学級懇談や学校・学年だより等を通して、あいさつの意義や児童の様子を伝える等積極的に働きかけ、学校・家庭・地域が一体となって指導の徹底を図る。</p>	<p>②については、全体的な指導を継続的に行い、地域協議会等の協力を得ながら実践活動を進めることができた。 【次年度の方針】 ①については、今後もあいさつ運動週間を定期的に設け、そして、家庭や地域と連携を図って、あいさつの定着を図っていけるようにしていく。また、時と場に応じた黙礼もできるように指導をしていく。②については、家庭や地域からも児童の様子を教えてもらったり、家庭にお願いをしてあいさつふりかえりカードを活用したりすることで、学校・家庭・地域が一体となって指導の徹底を図っていけるようにしていく。</p>
	<p>A12 児童は、正しい言葉づかいをしている。 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている。」⇒児童と保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 相手の立場や時と場に応じた正しい言葉づかいを発達段階に応じてその場で具体的に示し、全校体制でよりよい言語環境へ向けて繰り返し指導する。 ② 人を傷つける言葉については、徹底的に指導し、児童・保護者・地域住民・教職員の共有のもと、指導の一体化を図り、より良い人間関係が育んでいけるようにする。</p>	<p>B 【達成状況】 ◇教職員の肯定的回答…88.0→95.7% ↑ ①については、全校体制での指導は、共通理解のもと徹底してきている。高学年の児童の様子を、低学年にも示していけるとよい。 ②については、教職員での統一した指導により、目立った言動はなくなっていると思われる。 【次年度の方針】 ①については、誰に対しても敬語を使えない様子も見られるので、丁寧な言葉遣いができていないときには、どの学年においてもその場ですぐに指導するなど、教職員が足並みをそろえて指導に当たっていく。②についても同様に、教職員が足並みをそろえて指導に当たっていく。また、道徳の時間にも力を入れて取り組み、よりよい人間関係が育まれるように指導に当たっていく。</p>
	<p>B2 児童は、互いに協力して活動している。 【数値指標】 独自のアンケートの「児童は、学校行事や児童会活動、縦割り班活動などにおいて、協力して活動している。」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学級等において、日常的に協力することの大切さを指導するとともに、道徳の時間においても協力・協調の態度を育む指導を重点化する。 ② 学級の係活動や児童会活動、縦割り班活動、学校行事等において、児童が協力して活動する場を意図的に設ける。</p>	<p>B 【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…98.2→95.6% ↓ ①については、各学級での活動が、学年や学校全体へと広がっている。 ②については、高学年を中心に、全学年の児童が協力しながら活動する場が増えてきた。 【次年度の方針】 ①については、道徳の時間に力を入れて取り組んだり、児童同士による学び合いができる授業を意識して設けたりしていく。②については、どの学級においても係活動の活性化を図っていく。また、今後も、ゆるキャラ「きらりん」を有効に活用して、愛校心を高めながら協力して取り組んでいけるような児童会活動の充実を図っていく。</p>
健康・体力	<p>A13 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、休み時間や放課後など、積極的に運動をしている。」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 元気っこ体力チェックの結果を踏まえ、教科体育や体育的行事を通して、児童が目標を決めて進んで取り組めるように、各種の検定やがんばりカードなどを工夫改善し、指導に生かす。 ② 北小タイムやロング昼休みなど、児童に積極的に外遊びをするように奨励する。</p>	<p>B 【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…89.2→91.5% ↑ ①については、検定やがんばりカードなどを効果的に活用した取組みが、浸透してきている。 ②については、各学年とも、教員とともに昼休みに外遊びをすることが増えてきている。 【次年度の方針】 引き続き検定や頑張りカード、外遊びを継続する。</p>

	<p>A14 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、好き嫌いなく給食を食べている。」⇒教職員の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 食の大切さや楽しさを実感できる学級活動や家庭科の授業を実践するとともに、給食がんばりカードの活用や、給食時間の指導を通じて、食に対する関心を高める。</p> <p>② 学級懇談や個人懇談等において給食の状況について伝えたり、食育だよりを定期的に発行したりして、食の大切さについて保護者への啓発を図る。</p>	<p>【達成状況】 ◇教職員の肯定的回答…88.0→91.3% ↑</p> <p>①については、「おにぎりの日」や「お弁当の日」など学校以外の活動も含めて、食に関する関心を高めることができた。</p> <p>②については、学校給食委員会や食育だよりなど、広く情報発信を行ったことにより、様々な面で食への意識が高まった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、「食育だより」などを用いて、情報を発信し続ける。</p>
	<p>B3 児童は、進んで自分の健康づくりに取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 独自のアンケートの「私は、健康に気を付けて、規則正しい生活をしている」⇒児童、保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 早寝早起き・朝ごはんの摂取について、家庭と連携を図りながら繰り返し指導する。</p> <p>② テレビ、ゲーム機、スマホゲーム等の利用時間や利用方法などについて日常的に指導し、規則正しく健全な生活を送ることができるようにする。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…93.1→93.7% ↑ ◇保護者の肯定的回答…87.2→87.8% ↑</p> <p>①については、少しずつ家庭への呼びかけが広がり、朝食の摂取も増えてきて継続が図られている。</p> <p>②については、講座なども企画し、より情報提供の場を拡大し、啓発を行っている。</p> <p>【次年度の方針】 様々な場面を通して、継続して周知しながら取り組む。</p>
学 習	<p>A15 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している。」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 魅力のある学習課題及び提示の仕方を工夫するとともに、「分かる」「できる」授業の展開に努め、自信をもって意欲的に学習に取り組めるようにする。</p> <p>② 児童が「話す」スキルを習得できるように、積極的にグループ学習を取り入れたり、テーマを決めて話す場を設定したりするように努める。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…91.6→92.9% ↑</p> <p>①については、課題提示だけでなく、展開の部分においても工夫が見られ意欲が高まった。</p> <p>②については、話し合い活動を積極的に取り入れ、様々な機会です話活動が充実してきた。</p> <p>【次年度の方針】 ICTを活用して、さらにわかりやすく魅力のある授業を展開していくようにする。また発達段階に応じた発表の仕方ができるように、どの学年も「話す」スキルを磨く。</p>
	<p>A16 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体のアンケートの「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している。」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 「学習の約束」「話し方・聞き方の約束」をもとに、学習に取り組む態度や姿勢について、発達段階に応じた指導を繰り返し行う。</p> <p>② クラブや委員会活動、出授業、補教等で見取った児童の様子やよさを認め励ましたり、随時担任に伝えたりして、全校体制で児童の指導に継続して取り組む。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…86.5→91.2% ↑</p> <p>①については、落ち着いた態度での聞き方については、全体的に定着してきた。話し方についても継続した指導を心がけたい。</p> <p>②については、学校全体での評価体制の形を整え、より広い情報交換が行えた。</p> <p>【次年度の方針】 職員間のコミュニケーションの活性化をさらに図り、改めるべき点ばかりでなく、児童の良い面を伝え合えるようにする。</p>
	<p>B4 家庭学習を続ける習慣が身に付いている。</p> <p>【数値指標】 独自のアンケートの「私は、宿題や自主学習を計画</p>	<p>① 古里地域学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を活用し、児童の実態に応じて、宿題及び家庭学習の内容や分量、方法を具体的に示し、家庭学習の習慣化を図る。</p>	<p>【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…89.9→86.3% ↓ ◇保護者の肯定的回答…67.1→70.3% ↑</p> <p>①については、共通理解のもと宿題の具体性が図られてきた。継続が図られている。</p> <p>②については、昨年度に比べて周知が図られ</p>

	的にしている。」⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上	② 家庭学習の意義や学校での指導内容について、学級懇談会や学年だより等で保護者に知らせ、理解や協力を得られるように努める。	B	てきた。 【次年度の方針】 宿題や自主学習の出し方を低・中・高のブロックで話し合っ共通理解したり、「家庭学習のすすめ」もさらにバージョンアップしたものにしたりする。
本校の特色・課題等	B5 自分の考えを持ち、進んで表現し、学び合える児童を育成する。 【数値指標】 独自のアンケートの「児童は、思ったことや考えたこと、感じたことを、自分の言葉で表現している。」⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	① 児童が必要を感じたり、関心・意欲を持って取り組んだりできる言語活動の場を意図的・計画的に設定する。	B	【達成状況】 ◇児童の肯定的回答…92.3→82.4% ↓ ◇教職員の肯定的回答…96.0→91.3% ↓ ①については、授業などでも指導での継続が図られてきたが、より意識を高める必要がある。
		② ノートや学習プリントに本時の振り返りを記入したり、発表ボードに自分の考えをまとめたりする活動を充実させ、意欲的に自分の考えや想いを表現できる児童の育成に努める。	B	②については、どの学級でも発表の実践が図られた。表現の多様性が必要と思われる。 【次年度の方針】 自分の意見や考え方を自由に発表できるような雰囲気づくりにも取り組む。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<ul style="list-style-type: none"> ・各教科や各領域において、話し合い活動を積極的に取り入れ、様々な機会です話活動が充実してきた。今後は、発達段階に応じた発表の仕方ができるように、どの学年も「話す」スキルを磨くようにする。また、児童が自分の意見や考え方を自由に発表できるような雰囲気づくりにも取り組む。 ・基本的な学習態度の育成は昨年度から継続しているので向上が見られた。 ○家庭学習については、共通理解のもと宿題の具体性が図られてきた。学校園で作成した「家庭学習のすすめ」は、今年度修正したものを家庭に配布し、周知が図られてきた。今後は、宿題や自主学習の出し方を低・中・高のブロックで話し合っ共通理解したり、「家庭学習のすすめ」もさらにバージョンアップしたりするようにする。 ・「きまりを守りマナーを守って生活しているか」については、振り返りタイムの実施と生活目標の徹底は図ることができた。さらに、家庭との連携を図って実践力が身に付くように努めたり、教職員の足並みをそろえた指導体制を確立したりする必要性があげられる。 ・「いじめ対策の取り組み」については、「いじめは絶対許さない 見逃さない」という全職員の共通理解のもと組織的に指導にあたったことが効果をあげた。また、おたよりやHPなどを通して定期的に学校の取組について発信したことで、保護者の肯定的回答の大幅アップにもつながった。今後も、いじめを認知したら、組織的に対応し、保護者への連絡も必ず行うようにするとともに、いじめの未然防止や早期発見につながるアンケートの実施やケース会議等を定期的に実施していく必要性があげられる。 ○「時と場に応じたあいさつ」については、1年間を通じたあいさつ運動などの取組が効果をあげた。あいさつ運動は、今年度以上に、保護者や地域の方とも連携を図り、地域ぐるみで実施できるようにしていく必要性があげられる。時と場に応じた黙礼ができる態度を身に付けられるように引き続き指導していく必要性もあげられる。 ○「時と場に応じた言葉遣い」については、教職員が一体となって取り組んできたことが効果をあげた。ただ、だれに対しても敬語を使えていない様子も見られるので、教職員が足並みをそろえて指導に当たっていくとともに、授業での発表の仕方や敬語の使い方や道徳の授業にも力を入れて取り組んでいく必要性があげられる。 ・「協力して活動しているか」については、各学級において協力して活動する機会を意図的に設けたり、縦割り班の活動を充実させたりしたことが効果をあげた。今後は、児童会活動において、ゆるキャラ「きらりん」を有効に活用し、愛校心を高めながら協調性が育まれるような取り組みを充実させる必要性があげられる。 ○「望ましい食習慣の育成」では、地域学校園全体でお弁当の日や調理教室などを企画し、歩調を合わせて取り組むことができた。今後、家庭への周知をさらに進めていけるような啓発活動を計画していきたい。

6 学校関係者評価

<p>【あいさつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校を訪れた際には、元気よくあいさつをされ気分がよい。 ・自然とあいさつができる雰囲気が広がり、年々よくなってきている。 ・上級生を中心に、あいさつの輪が広がってきている状況が見られる。 ・昨年同様、学校ではできていても、外ではなかなか難しい雰囲気が見られる。顔見知りの場合には、積極的に大人からあいさつするとよいと感じる。
--

・地域住民が、あいさつできている子どもを認めほめてあげることで、さらにあいさつの輪が広がっていくように声をかけていきたい。

【いじめ】

・いじめに関しての肯定的割合が、児童・教職員・保護者・地域と同じように高くなってきたことはそれぞれが実情を認めてきたということではないだろうか。

・学校全体で「いじめ」に対する取組の徹底がなされている様子が、学校だよりや校長の講話、子どもたちの運動などから知ることができ大変良い。

・「いじめ」の問題を地域全体として取り上げ、古里地域学校園全体で関わっていけるように声をかけていきたい。

【その他】

・学校全体が落ち着いた雰囲気、学習ボランティアなどで学校を訪れる機会が増え、子どもたちとともに充実した時間を過ごすことができる。

・今後もこの落ち着いた雰囲気、岡本北小学校を盛り上げて行ってほしい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

（1）健康で明るい子どもを育てる

○あいさつに関しては、児童や保護者を中心に肯定的回答の割合がさらに上がり、あいさつに対する意識の高まりが感じられる。朝のあいさつ運動も、ボランティアの児童が数多く正門のところに立って、毎日声をかけることで児童一人一人がしっかりあいさつできるようになってきている。また、中学生があいさつ強化週間で学校に来てくれて、あいさつ運動を行うことでさらに充実した活動が実践できた。地域協議会との連携を図りながら、徹底させていく。

○給食については、児童・教職員と保護者との肯定的回答の割合に差が生じているので、実情を理解してもらえような情報発信の工夫をさらに行い、学校での食育指導や家庭との連携を充実させていきたいと考える。

○検定やがんばりカードなどの活用が図られ、児童の運動に関する肯定的回答の割合が上昇してきた。元気っこ体力チェックの結果を生かした取り組みをできるだけ取り入れるようする。

（2）よく考えて判断できる子どもを育てる

○安全教育の研究の2年目を迎え、昨年に引き続き、テーマを「自他の命の大切さを考え、安全な行動ができる児童の育成 ～予測力・判断力・行動力の向上を目指して～」として研究発表会を実施することができた。交通安全を中心とした実践力を身に付けるために、学年ごとの取組を進め実践活動に結び付けることができた。今後は、さらに日常生活での取り組みを考え、判断力・行動力を育てていく。

○「家庭学習の進め方」については、地域学校園の系統性を検討し、学年の発達段階に即した内容の提示を心掛け、さらに自主学习が定着していくように家庭との連携を図っていく。

○「学習のきまり」の定着については、全教職員の共通理解のもと約束を徹底させ、継続して基本的な学習習慣の定着を図っていく。

○自分の考えを進んで表現しようとする意識や姿勢が、まだ定着していない現状が見られ、児童にも教職員にも共通で取り組む課題として考えられる。学力向上の上でも、意識を高め、表現の多様性を検討しながら指導をしていく。

（3）思いやりのある子どもを育てる

○「いじめ」を許さないという取り組みについては、「いじめ強化月間」での児童会活動の実践や児童指導部を中心とした学校全体での取り組みが効果を上げていとみられる。「いじめに関するアンケート調査」や「なんでも相談」での結果などを生かし、具体的な対策をさらに実践していく。

○特色ある学校づくりとして、本校シンボルキャラクター「きらりん」を様々な活動で活用し、児童会活動の「きらりんウォークラリー」や学校行事の「運動会」・「持久走大会」などのシンボルとしてPTAや地域などへの周知も深まってきた。昨年度までのい学年交流活動に加え、地域に活動の場を広げていこうと考えている。

（4）ねばり強く進んで実践する子どもを育てる

○年度当初に、全児童が自分のめあてをたて、その実現に向けて努力していくことを指導してきた。キャリアコーナーには、昨年度に続き将来の夢を掲げ、全校児童にも提示することで人間関係の醸成を図っている。児童一人一人のよさを認め励ます言葉かけから、自尊感情を育て自己肯定感を高められるようにする。

（5）開かれた学校づくりを進め、地域に根ざした教育活動の推進に努める

○地域協議会の協力のもと、学習支援ボランティアの拡大や出前授業の実施など、各学年ともに授業内容の充実を図っている。学校だより等を中心に、学校の教育活動の周知を図り、保護者や地域の理解を深めていけるような活動を計画していく。来年度は、岡本城跡の清掃活動などについて、地域協議会や地元団体と連携し、学校と地域が一体となって取り組めるような活動を計画している。

